

# 1 自分について話す スピーチをしよう

名前

組

番

/50点

解答

1 イ

2 ウ

3 (例) 活動にはいろいろな年代の人が参加しているので、年齢の離れた人とも交流できます。

別解

(例) いろいろな年代の人が活動しています。だから、年齢の離れた人とも交流できます。

(例) 参加者は小学生から六十歳代以上までさまざまで、年齢の離れた人とも交流しています。

★採点基準

3 指定字数（三十字以上四十字以内）を守っていること。

・スピーチとしてふさわしい書き方で書いていること。

・前半にグラフから読み取れる内容を書いていること。

・後半に「年齢の離れた人との交流」にあたる内容を書いていること。

以上を満たしているものが正解。

## 解き方のガイド

1 木村さんのスピーチの中で繰り返し説明している言葉はないので、イが誤り。ただし、イ「耳で聞いて理解しにくい言葉は、繰り返し説明」することは、一般的に、わかりやすいスピーチをするための工夫としては適切であると覚えておこう。

2 「花を植えるだけで、町の様子がとても変わる」という内容に合うカードを考える。ウのような写真を入れれば、町に花を植える効果が伝わりやすい。

3 カード③を見せて話すのは、「参加者どうしの交流が楽しい」という内容。「このグラフからわかるように、」に続けて書くので、まずはグラフから読み取れる「いろいろな年代の人が参加している」という内容を書く。続けて、「年齢の離れた人と交流できる」という内容を書けばよい。

スピーチをするときは、あらかじめスピーチメモを作成するといよい。ただし、本番ではスピーチメモをそのまま読むのではなく、聞き手の反応を見ながら話そう。聞き手に伝わりやすいように、見せる資料を準備したり、聞き手からの質問をあらかじめ予測して答えを書いておくのもおすすめです。

授業でのスピーチの場面だけではなく、発表や報告を行ういろいろな場面に活用しよう。

